教科 【 英語 】

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1

板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組

- ・めあてを設定し、自力解決、集団解決、振り返りの学習の流れを定着させ、「分かる・できる・楽しい」授業づくりを行う。
- ・生徒同士の学び合い、ペアやグループで話し合う活動を多く取り入れ、生徒が主体的に取り組む時間を多く設定する。
- ・自分に合った学習内容、方法を選択して取り組める場面を設定する。
- ・自分の興味関心や目標に合わせて、英語検定やコンクールを活用し、学習意欲を高める。
- ・授業や家庭学習において、一人一台端末を活用させる。音読練習やドリル学習に取り組みせ、生徒が自らの理解を確認し定着を図るようにするとともに、一人一人の学力の定着や向上を確認する。

視点2

読み解く力の育成

- ・発問や指示を明確にし、教科書の文章や問題文の意味を正しく理解させる。
- ・指示語を理解し、文の構造を正しく把握できるよう基礎的読解力を付ける授業を行う。
- ・個人→グループ→個人で考えを深める協働的な学習を進める。
- ・自分の意見や考えを根拠や理由を示しながら、簡単な英語で話したり、書いたりして、他者に伝える表現活動を増やす。
- ・問題解決に向けて論理的に考えたり、自分の意見や考えを根拠をもとに説明する取り組みを増やす。

視点3

総合的な学習の時間との連携

- ・総合的な学習の時間と横断的に取り組む教材として、伝統文化、環境、国際協力、人権、キャリア等の問題を自分の問題として考える機会にさせる。身近な話題や社会的な話題について、ペアやグループで話し合う活動を通して、自分の感想や意見などを簡単な英語で述べたり書いたりする言語活動に取り組ませる。
- ・これらの単元を通して、事実や自分の考えを整理し、簡単な根拠や理由を示しながら、自分の考えを伝える力を育成する。